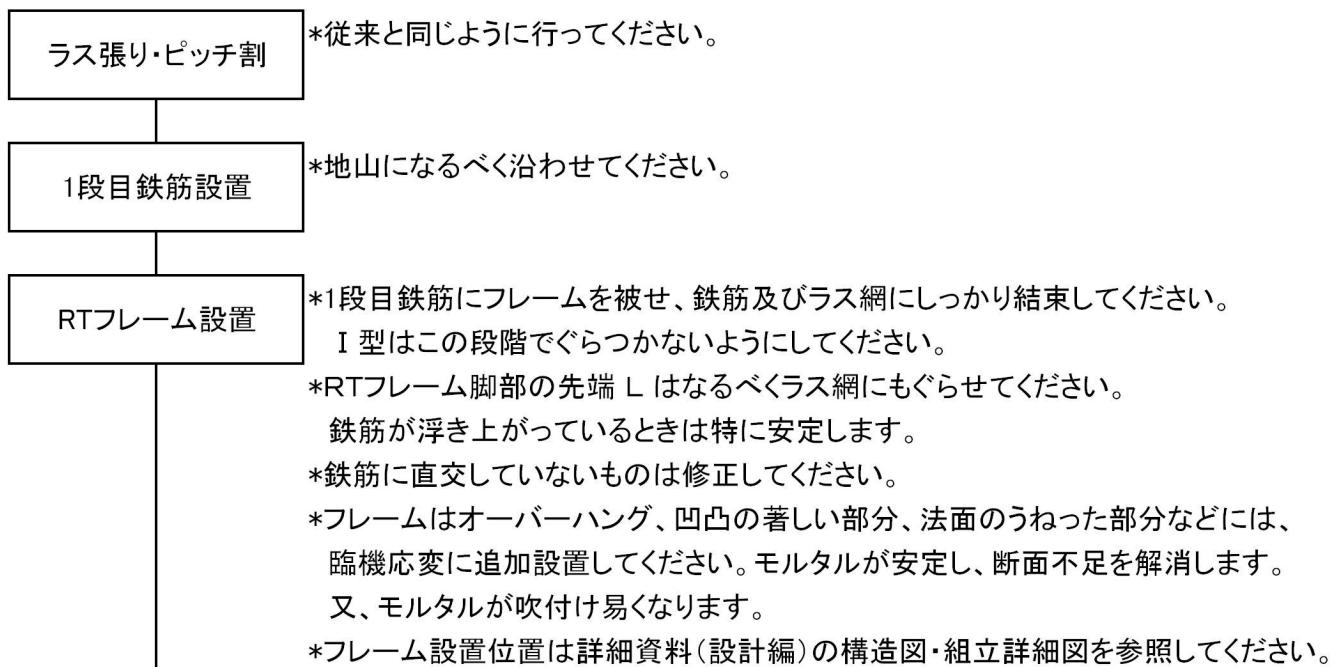


## 施工要領



## 運搬方法



### 2段目鉄筋設置

- \* II、III、IV型はこの段階でフレームを直交方向に調整し、ぐらつかないよう  
しっかり結束してください。ラス網に引っ張れば効果的です。
- \*フレームから鉄筋が浮き上がらないようにしてください。

### アンカー設置

- \*従来と同じように、鉄筋を支える状態に設置してください。

### 網状型枠設置(勾配別)

- \*フレーム側面に結束線で結束してください。吹付け後、結束線がモルタルから  
はみださないよう注意してください。
- \*フレーム間は鉄筋から結束線で型枠を引っ張って、型枠がモルタルの重みで  
変形しないよう注意してください。
- \*設計外であってもオーバーハング、急勾配、凹凸の著しい部分など、補足の  
必要な場所には設置してください。
- \*凹部の深い部分は、通常断面から下は別の型枠を垂直方向へ設置してください。  
フレーム側面と同じ勾配で設置すると裾がひろがり、見た目が悪くなります。
- \*型枠規格は本編の使用材料表へ掲載しています。但し、指定の規格のものが  
入手困難であれば、サイズは変更してください。
- \*必ず吹付枠用の丈夫なものを使用してください。



### 枠内シート養生

- \*吹付圧力で剥がれないようしっかり設置してください。
- \*1辺につき5箇所程度は地山かラス網に固定してください。
- \*枠内寸法より極端に小さいものを使用しないでください。  
枠モルタルが広くなりすぎる恐れがあります。

### モルタル吹付け

- \*鉄筋に沿って中央部を吹付けた後、側面をフレームが隠れるまで吹き付けてください。もしくは左右別々に、右なら右側の鉄筋沿いに吹き付けて右側面を仕上げ、次に左側の鉄筋沿いに吹き付けて左側面を仕上げ、最後に天端を仕上げてください。
- \*必要以上に吹付けるとロスが多くなり、ひび割れやダレの原因になりますので、フレームが隠れたら止めてください。裾が広がりやすいので注意してください。
- \*型枠使用部分は通常部分は内側から充填し、外側から型枠が隠れるように仕上げてください。
- \*法面形状によってはフレームと地山間が深くなる部分ができますので、この部分には設計外であっても型枠を使用してください。深い部分は型枠を垂直方向へ設置し、モルタルの広がりを抑えてください。
- \*天端は小手均しを行わず、自然な山形状に仕上げてください。
- \*鉄筋挿入工の場合の交点天端は、コテ均しをしてください。
- \*吹付け中のエアー清掃、吹付け後のモルタル養生は従来と同じように行ってください。



### 枠内清掃・枠内吹付

- \*従来と同じように行ってください。